青山学院大学社会連携機構国際交流共同研究センター・日本財団パラリンピック研究会共催
外務省・毎日新聞社　後援
独立行政法人国際交流基金　助成
公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会　協力

国際シンポジウム

スポーツを通じた多文化共生の未来に向けて

～オリンピック・パラリンピックと多文化共生～

参加無料

日時：2016 年 1 月 9 日（土）
13:00～18:00（受付開始 12:30）
場所：青山学院大学総合研究所ビル 12 階大会議室
使用言語：日本語・英語（同時通訳あり）

青木 保氏

グドルン・ドルテッパー氏

藤田 紀昭氏

山口 拓氏

ロビン・ケットリンスキー氏

デニス・フロスト氏

飯笹 佐代子

小倉 和夫

土山 實男

セッション 1　13:05-14:45　文化としてのスポーツの役割・力（スポーツを通じた共生の推進）

○コーディネータ：小倉　和夫（日本財団パラリンピック研究会代表・青山学院大学 特別招聘教授）

「『文化力』としてのスポーツ」　**青木　保（国立新美術館館長、元文化庁長官）**

「ドイツにおけるスポーツを通じた共生の推進」
グドルン・ドルテッパー（ベルリン自由大学教授、ドイツオリンピック委員会副会長）

「文化としての障害者スポーツ」　**藤田　紀昭（同志社大学教授）**

「スポーツを通じた社会開発」　**山口　拓（筑波大学助教）**

セッション 2　15:00-16:30　オリンピック・パラリンピックにおけるダイバーシティと共生の推進に向けて

○コーディネータ：土山　實男（青山学院大学社会連携機構国際交流共同研究センター所長）

「困難から金メダルへ－女性選手とオリンピック」　**ロビン・ケットリンスキー（ニューヨーク市立大学准教授）**

「戦後日本に於けるパラリンピック・ムーブメント」　**デニス・フロスト（カラマズー大学准教授）**

「開会式における多文化共生へのメッセージ」
飯笹　佐代子（青山学院大学社会連携機構国際交流共同研究センター客員研究員、東北文化学園大学教授）

セッション 3　16:40-17:50　総合討論「2020 年東京オリンピック・パラリンピックへの提言」

○コーディネータ：小倉　和夫（日本財団パラリンピック研究会代表・青山学院大学 特別招聘教授）
青木保、グドルン・ドルテッパー、藤田紀昭、山口拓、ロビン・ケットリンスキー、デニス・フロスト、飯笹佐代子、土山實男

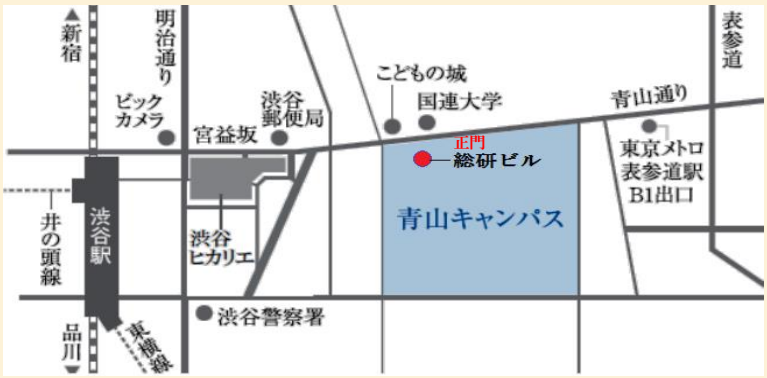
開催趣旨

本シンポジウムでは、2020 年東京オリンピック・パラリンピックを、ダイバーシティの尊重と共生を推進していく上での有益な祭典とするために、同大会で何がなされなければならないかを考えていきます。文化力としてのスポーツの役割、特にスポーツを通じたダイバーシティ・共生の推進に焦点を当てた一般論と、2020 年東京大会を念頭においた各論のセッションを設けて議論を行い、それらを踏まえて、2020 年東京大会に向けた提言を導き出します。

会場アクセス

JR 線、東急　東横線・田園都市線、
京王　井の頭線、東京メトロ　副都心線
「渋谷駅」より徒歩 10 分

東京メトロ　銀座線・千代田線・半蔵門線
「表参道駅」より徒歩 5 分



参加申し込み方法

FAX または E メールで **1 月 6 日（水）** までにお申し込みください。

● F A X の場合：以下のフォームにご記入の上、送信してください。（宛先 FAX: 03-3409-6590）

フリガナ お名前		FAX	
ご所属・役職			
メールアドレス			

● E メールの場合：（宛先アドレス：info@jripec.aoyama.ac.jp）

メールの件名を「1 月シンポジウム参加申込」とし、(1)お名前 (2)フリガナ (3)ご所属・役職（本学学生の場合は学生番号）(4)メールアドレスを明記の上 1 月 6 日（水）までに送信してください。

※学生の方は当日、学生証をお持ちください。
※ご記載いただいた個人情報については、当センターにて厳重に管理し、他の目的で利用することはありません。

青山学院大学社会連携機構国際交流共同研究センター
Aoyama Gakuin University Joint Research Institute for International Peace and Culture

青山学院大学と独立行政法人 国際交流基金が連携して 2008 年 4 月に創設され、教育と政策立案に役立てるために、国際理解や国際交流についての学術・実証研究を行っています。これまで、平和構築における文化的側面、国際交流と地域の活性化、多文化共生、そして女性力についての日韓比較などのプロジェクトを実施し、その成果をシンポジウム、セミナー、そして書籍や報告書などの形で発表しています。紀要として「Peace and Culture」を刊行しています。

http://www.jripec.aoyama.ac.jp

JAPANFOUNDATION 国際交流基金　THE NIPPON FOUNDATION　日本財団 パラリンピック研究会 The Nippon Foundation Paralympic Research Group　Aoyama Gakuin University JRIPEC